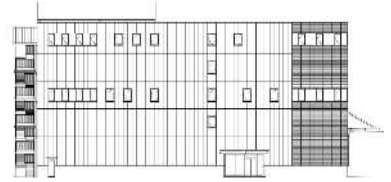


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社カイト引越センター-東名厚木センター	階数	地上5F
建設地	厚木市酒井字蒲原3111他9筆	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	100 人
気候区分		年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年9月 予定	評価の実施日	2014年2月1日
敷地面積	4,427 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	1,499 m <sup>2</sup>	確認日	2014年2月1日
延床面積	5,968 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 建設: 100%  
 修繕・更新・解体: 82%  
 運用: 82%  
 オンサイト: 82%  
 オフサイト: 82%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物を継続利用していくために維持管理しやすくなるよう考慮し、耐久性の高い材料を選定した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
内装材料にFを採用。建物内を全面禁煙にすることで、非喫煙者が煙に晒されないよう配慮した。	休憩室を配置し、快適性を向上させた。耐久性の高い材料を選定し、更新間隔が長くなるよう配慮した。	できる限りの緑化を設けた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
ヒートポンプ技術を用いた高効率の空調設備、Hf型(インバーター式)照明器具を採用し、設備システムの高効率化を図った。	自動水栓、節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮した。躯体と仕上材、設備が容易に分別できるよう計画した。	燃焼機器を使用しない計画とした。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される